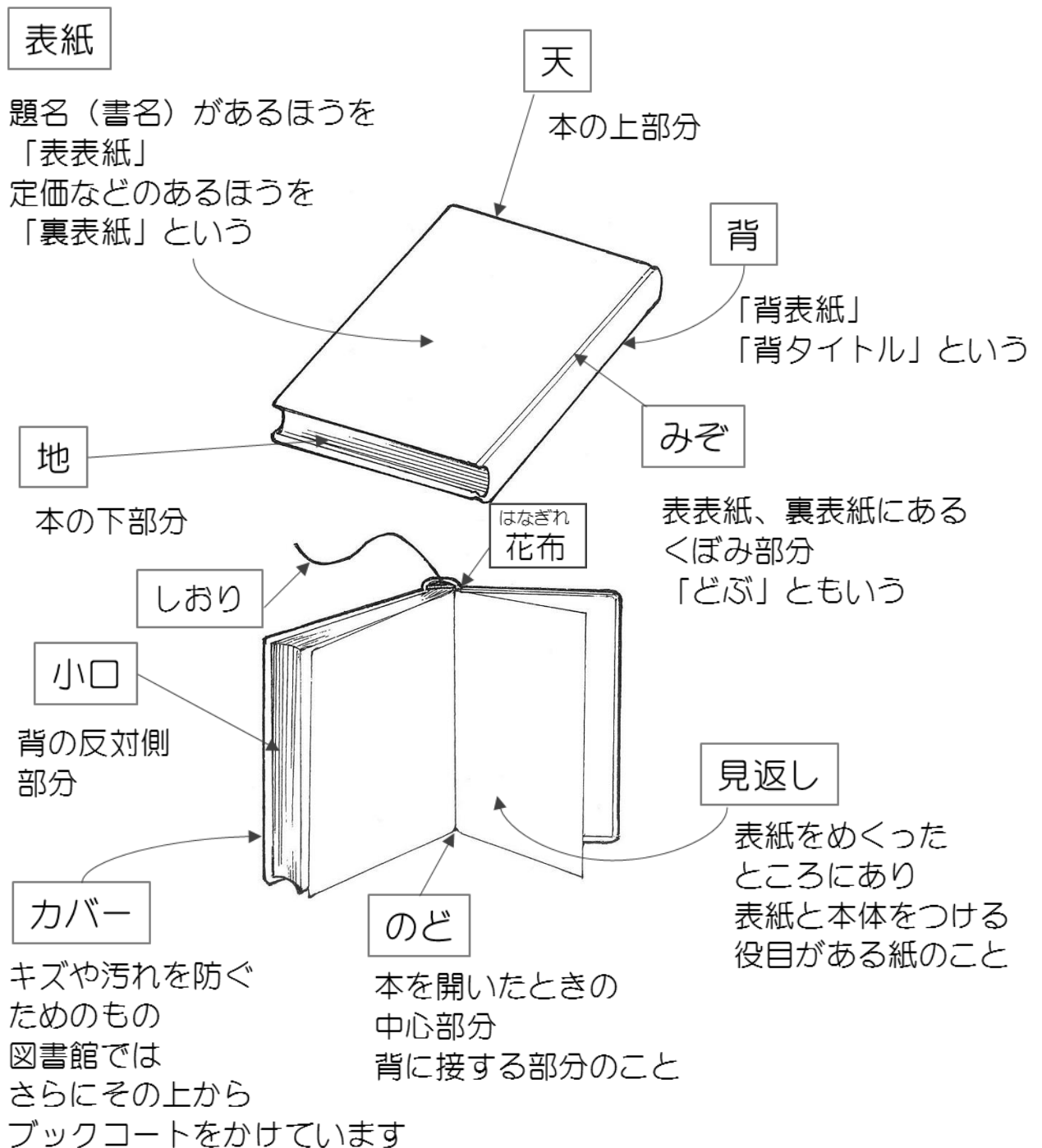


# 本の修理研修

## 本の構造について

本にはハードカバー（厚みのあるかたい表紙）とソフトカバー（薄くやわらかい表紙）という主に2種類の表紙があります。以下はハードカバーですが、一般的な名称を載せています。



## 注意したいポイント

紙の目とは

紙をつくる過程で紙の繊維に流れができ、この流れが紙の目と呼ばれます。

丸めやすい方、破れやすい方が縦の目です。

紙の目が本の背と平行になるように縦の目の紙を使います。

紙の目を背と平行に取ることにより、本文を開いたときにも背表紙の部分が柔軟に曲がり、背と本文が分離することもなくなります。

## 修理道具いろいろ

### ・ハサミ

フッ素コーティングのものがおすすめ

### ・ページヘルパー&アメニティ

ページヘルパーは紙の破れなどの補修用の補修テープです。

アメニティは背や溝などの補修用テープです。

### ・ビニールのり（でんぷんのり）

ビニールのり：でんぷんのり＝1：1で使用。固まるスピードがゆるやかになります。

※ビニールのりだけだと接着力が強く、はがしにくい。

※のりづけ以外の作業をするときはのりの蓋はすぐにしめましょう。

無い場合は、木工用ボンド：でんぷんのり＝1：1でも良いです。

### ・ゴムへら

ビニールのりをつけるときに使用します。

無い場合は、竹串などを使用する。

### ・のり引き紙

のりをつけたあと、他のページにのりが広がらないよう挟みます。

### ・輪ゴム&山型クリップ

のりづけした本を固定します。

### ・ソルベント（セロテープはがし）

筆に適量とり、セロテープの端に塗ります。量が多すぎ、塗りすぎてもすぐ乾きます。

### ・紙やすり

天、地、小口のシミなどを削る。

### ・砂消し

落書きなどを消します。

## 修理の手順

### 1. ページ破れの修理方法

#### ①ページの破れた箇所を

丁寧に元に戻すように重ね合わせ  
(重ねの上下を間違えないように)

#### ②ページヘルパーの破れの長さより

少し長めにカットし、  
ヘルパーの裏紙をはがしながら、  
ヘルパーがシワにならないように  
注意深く貼りつけていく。

#### ③ページの外に出た余分なヘルパーは、

ページの縁に沿って、  
本のページは切らないように注意しながら、  
ハサミで切り取る。  
裏も同様にヘルパーを貼る。

※でんぷんのりをのりしろにつけて貼るのも可。  
特に破れ目が複雑なときは、  
ヘルパーだけで補修しようとする  
失敗する可能性大のため、  
裂け目の断面にのりをつけて直すこともできます。



## 2. ページ外れの修理方法

①ページの確認をする。

※間違えないように気をつける。

②外れたページの「のど」にのりをつける

※のりは少なめに。

のりをつけ過ぎて失敗すると元には戻せません

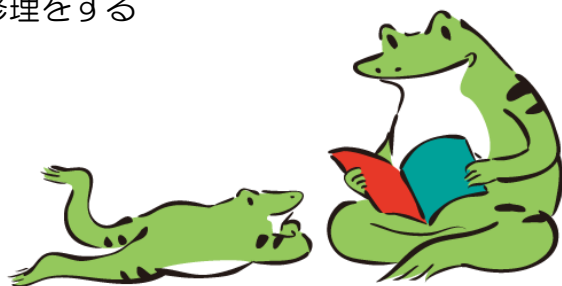
ページ上下を確認して

ページを差し込み「小口」を揃える

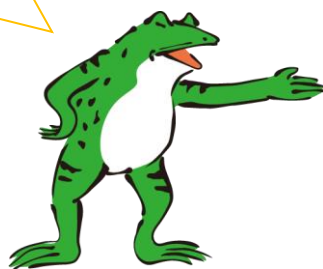
複数ページがはずれている場合には、

とれたページの背を固めたあとに

のりづけ修理をする

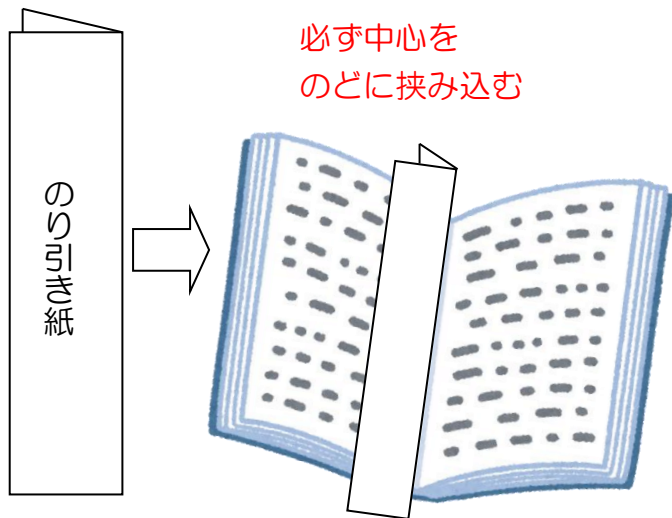


差し込むときには、  
天・地を確認して  
ページがはみ出ないように  
確認！！

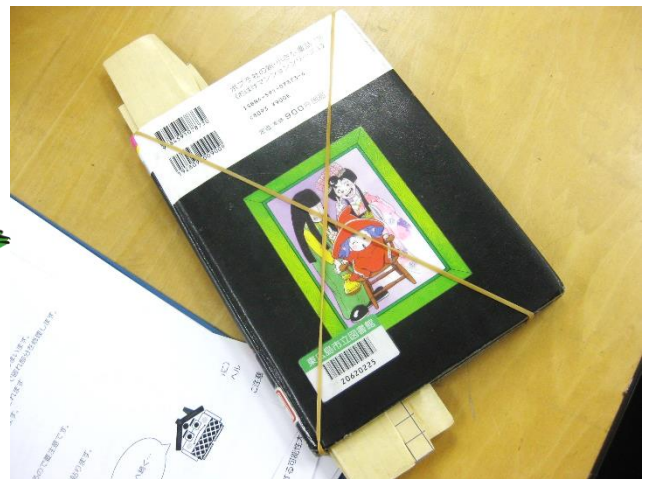
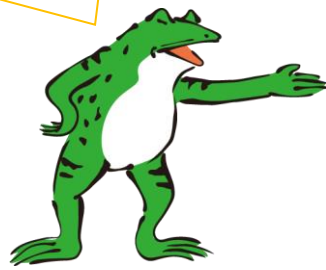


③のり引き紙を挟み、  
輪ゴムやクリップで固定し、1~2日置く

※のり引き紙は必ずブッカーなどの  
裏紙を使ってください。



本が分厚いときには、  
山型クリップを使用します。



### 3. 見返しと「のど」のゆるみ…絵本に多い

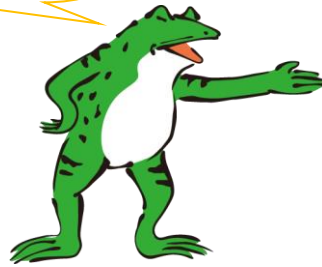
①竹串にのりをつける

②溝の部分に差し込み、  
竹串を回しながら均等につける  
(竹串がはいるところまででOK)

③「のど」の部分をシワにならないよう  
丁寧に布で押さえ、  
はみ出した余分なのはふき取る

④表紙の溝部分を編み棒(竹串)で挟み、  
固定する  
※背にのりはつけないこと!

背にのりをつけると  
本が開かなくなります。



#### 4. その他の修理方法

##### ★セロテープ剥がし修理

セロテープで補修すると、  
時間が経つと紙が変色し、  
粘着部分のみ残ってしまいます。

ソルベント（溶解液）やアイロンで  
セロテープを剥がし、  
ページヘルパーで破れ部分を修理します。

粘着部分が残ったら、ベビーパウダーをつけます。

←粘着部分がとれます

剥がし終わったら、  
のりづけかページヘルパーでの修理をします。



##### ★汚れ落とし

砂消し、紙やすりで削ります。

鉛筆などの落書きは消しゴムで消します。  
ボールペンでの落書きは砂消しで消します。  
※絵本などは印刷の色が  
一緒に消えてしまうこともあるので要注意です。

天、地、小口の汚れは、紙やすりで削ります。



##### ★背はずれ

背と表と裏の表紙に  
数センチかかる大きさのアメニティを貼ります。